

私は 行政と現場 を知る研修者



MEMBER 07

令和時代の学校施設を目指してゴン攻め！

永嶋 勇也

卒業学部:工学部

所属:東北大学施設部
建築整備課建築第一係

役職:主任

採用年度:2014年

文部科学省研修先:文教施設企画・防災部
計画課(1年6ヶ月)、
参事官付(6ヶ月)

研修年度:2017年～2018年

NAGASHIMA YUYA

研修へ参加した **動機** は？

私たちの施設整備の仕事が、国のどのような施策や予算に基づき事業として成立しているのか興味がありました。

私たちの仕事の根幹を知ること、より大きな視点で大学の施設整備業務に取り組むことができると思ったので、研修に参加しました。

研修へ参加した **感想** は？

研修では、大学施設に求められる機能や今後の整備の方向性などの計画の作成に携わることが出来ました。今後、大学職員として施設整備の業務に従事する中でとても大きな経験になったと思います。

単に「施設を整備する」だけではなく、大学施設に期待されていることを理解していることで、広い視野を持って仕事ができるようになったと思います。



研修先での **印象に残っている出来事** は？

全国に配布する学校施設の安全点検のポイントを作成する業務を行っていた時に上司から、「この点検で危険箇所が事前に見つかり、助かる命があるかもしれない。」と言われたときは、改めて取り組んでいる業務の影響力を理解し、身の引き締まる思いがありました。



今後の **目標** は？

DXによる教育環境の変化や、2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みなどにより、学校施設は変革期にあると認識しています。

そのような大きな流れを意識しつつ、設計や現場監理では利用者の目線にたった細かな配慮が出来る『令和時代の大学施設』のプロフェッショナルになれるよう努力していきたいと思っています。

国立大学法人等技術職員を目指す方へ **メッセージ**

先述のとおり、学校施設は新たな変革の時期を迎えていると思います。そのうえ、大学施設は多種多様な教育・研究への対応も求められます。常に新しいことへのチャレンジの連続ですが、施設系職員・他職員の方々や利用者と共に、ひとつのものを創りあげていくことは、大変やりがいがあります。是非、一緒に働きましょう！！

